






1) 久米 紫穂 先生の発言と、それに対応する庭山先生の発言


A. 徳島市（方上小学校、南部中学校など）の進捗・課題共有

● 久米先生の詳細発言（概要）


- 研修ワークで「良かった点／改善点／来年度に見たい子どもの姿」を収集。徳島市小学校では全教員にiPadが配備され、ロイロ等のデジタル共同作業で意見集約を実施。  0129 Pミーティング...
- 持続可能性が最重要課題。年度末に推進チーム向け時間を確保し、マトリックスの見直し（項目増・月目標との整合）を検討。「今年は月目標主導でマトリックスがお飾り化」→マトリックス起点へ立て直しをリーダーと協議。  0129 Pミーティング...
- 内部中：挨拶ツリーやモデリング動画で全校取組を実施するも「数が伸び悩み」の相談あり。途中助言はしたが結果の把握は未了（実践報告会スライドで確認予定）。  0129 Pミーティング...
- 方上：新生徒会に12月頭にPBSの基礎講義を実施。今後のマトリックス改訂と絡める構想。  0129 Pミーティング...
- 方上の先生方は多忙ゆえ成果実感が希薄。**価値あるデータ提示（成果の可視化）**を自身の反省点として挙げ、来年度はデータ活用を強化したい。  0129 Pミーティング...

● 対応する庭山先生の発言（助言・応答）


1. 月目標×マトリックスの紐づけを掲示で可視化

- 月目標ポスターに「三つの大切等、マトリックスのどの観点に紐づくか」をアイコン/キャラで明示すると結びつきが直感化できる（大阪市例を提示）。マトリックスの隅々まで見直す意識づけも提案。  0129 Pミーティング...

2. データ活用：子どもの主観評価を定点でとる


- ロイロノート/Googleフォームで3段階自己評価を学期末ごとに取り、学年の強弱把握→次の月目標選定や**スクリーニング（極端に低い自己評価の子の二層支援検討）**に使う。
- 研究的厳密性は限定的でも、現場の実感に根ざした可視化として教職員のモチベーションに有効。休校5分でも取れる簡便性を強調。  0129 Pミーティング...

3. 「持続可能性」へ：制度化と“外堀”戦略

- 公務文書・校内組織・学校運営計画・コミュニティスクール・PTA等にPBSを明文化し“やらざるを得ない状況”を複層的に作る。管理職交代時の人事リスクに備え、年度内に次年度の推進計画を具体化しておく。  0129 Pミーティング...

4. 新任・新転入教職員向けの“短時間型”基礎研修を年度内に設計


- 日程・担当・資料まで年度内に確定し、30分程度でも良いので必ずセットする。

 0129 Pミーティング...

B. 「子ども主体化」を進める際の丸投げリスクへの懸念


● 久米先生の詳細発言



- 方上でも代表委員会の月目標反省会から、ポイントカード方式など子ども発案が増加。
- しかし、教員側が手放しすぎて「我々ノータッチでもいいのでは？」という空気にならないかを懸念。**“うまくいかない経験も学び”**という意見もあるが、過保護との境界に悩む。

 0129 Pミーティング...

● 対応する庭山先生の発言（助言・応答）



1. “丸投げ”は現実には起こり得る

- 多忙な現場ほど、子ども主体＝教員ノータッチに誤解されやすい。PBSは授業内外の基盤であり、**教員の伴走（ファシリテーション）**が不可欠。  0129 Pミーティング...



2. 歯止め=実行度チェックリスト（TFI等）で組織面を点検
 - 推進チームの定例会議、各学級のPBS的活動など、体制・プロセスが回っているかを項目で可視化すれば、丸投げ状態は構造的に起こりにくい。点検を定期化する。  0129 Pミーティング...
3. 一層支援の目標設定は“程よい具体性”
 - 例：挨拶は厳密定義に縛らず「元気な声で相手を向いて」等の柔らかい基準+モデリング例で幅を確保。場面緘黙等の多様性を包摂し、行動を認めやすくする。  0129 Pミーティング...

2) 特別支援・相談課 2（司会）からの投げかけと、それに対応する庭山先生の発言

A. 方で「PBSが当たり前化」して**“すごさ”実感が薄い？**という仮説



- 司会の発言
 - 「PBSが浸透し特別感が薄れているから“すごいことをしている”実感が無いのでは？」という視点を提示。  0129 Pミーティング...
- 対応する庭山先生（関連助言）
 - 外部者の定期訪問は変化が見えやすい→だからこそデータ化が重要。
 - 主観評価データを用いた見える化が現場の実感・継続動機に有効。  0129 Pミーティング...

B. ミーティング後半のまとめ・学習指導要領改訂論点との接続

- 司会の発言
 - 実行度チェックリストの解説動画（学びの和/広場に保存）や、実行度に対する教材集の整備予定を案内。次回以降で共有予定。  0129 Pミーティング...
- 対応する庭山先生（関連助言）
 - 次期学習指導要領の論点整理（多様性の包摂／実現可能性の確保等）とPBSの親和性を指摘。PBSは二年で終わる施策ではなく“枠組み”として継続可能、と政策的追い風を示す。  0129 Pミーティング...

3) 樋川（池田支援 美馬分校）先生の発言と、それに対応する庭山先生の発言






A. 自走校の「日常化」と校長交代に伴う継続課題

- 樋川先生の詳細発言
 - 小学校：校長リーダーシップで自走、「見守り」中心。ただし来年度の校長交代で継続性が懸念。
 - 中学校：生徒会/放送委員会が主導。他委員会の生徒からは「自分たちもやりたかった」という声。
 - 幼稚園：花を咲かせる取組を継続、3月の締めくくりを園長と検討。
 - 全体：アワード応募で振り返りはできたが、1-3月の推進の伸びしろに悩み。  0129 Pミーティング...
- 対応する庭山先生の発言（助言・応答）
 1. “管理職交代×持続”は難所
 - 特に校長主導型は次の管理職で失速しがち。次年度計画を年度内に固める、次任校長へ良さを伝える仕掛け（運営計画・協議会・PTA等）を早めに打つ。  0129 Pミーティング...
 2. 制度化の徹底



- 公務文書・学校運営計画にPBSを明文化。対外公開される文書に位置付けると、継続の外圧が働く。 0129 Pミーティング...

4) 中川 隆士（ひのみね支援）先生の発言と、それに対応する庭山先生の発言



A. 小松島市：芝田小（挨拶に絞った全校キャンペーン）と小松島中（委員会主体の全校企画）



- 中川先生の詳細発言
 - 芝田小：目標を挨拶に一点集中し全校で団結。子どもからの自発的発案（「教室でも」「別テーマでも」等）が生まれた。一方でキャンペーン後に戻す様子^{***}“だからもっとやりたい”という子の主体性^{**}につながった。 0129 Pミーティング...
 - 小松島中：12月末、3年生が全校前で活動を総括発表。初年度は難所もあったが形になった。次年度は校長交代を見据え、望ましい行動への注目共有やバックアップ体制を強化したい。3月に委員会向け振り返り研修を実施予定。 0129 Pミーティング...
- 対応する庭山先生の発言（助言・応答）
 1. 子ども主体化の設計
 - 一層支援では言葉の抽象度は“程よく”、具体例はモデリングで示す。A（環境）・B（行動の支援）・C（称賛/可視化）を子どもと共創する設計が鍵。 0129 Pミーティング...
 2. 管理職の経営テーマとPBSを“接続”して提案
 - 次任校長が大事にする方針の実現フレームとしてPBSを提示するのが有効。新任向け基礎研修は年度内に日程・資料・担当まで確定を推奨。 0129 Pミーティング...
 3. 政策文脈の追い風
 - 次期学習指導要領の論点整理（多様性の包摂、実現可能性の確保等）にPBSが親和的。^{***}二年で終わらない枠組み^{**}として位置付けやすい。 0129 Pミーティング...

5) そのほか（補助的）：発言と庭山先生の短い応答の対応






- 「ロイロノートのアンケート機能？」（司会）→ 庭山先生
 - ロイロでもGoogleフォームでも可。次学期頭に結果の全校共有を管理職から行う事例も紹介。 0129 Pミーティング...
- 「委員会の取組を全校へ“知らせ続ける”重要性（樋川）→ 庭山先生（総括で賛同）」
 - 子どもが新任教職員にPBSを説明できるレベルが理想。知らせる仕組みは持続を後押し。 0129 Pミーティング...

まとめ（対応関係の要点）

- マトリックス連動の“掲示・象徴”設計（キャラ/アイコン）と主観評価データの定点化→ 久米先生の可視化課題への具体解。 0129 Pミーティング...
- 制度化（公務文書・運営計画・協議会・PTA）と年度内に次年度計画確定→ 樋川先生の“校長交代×持続”不安への構造的対策。 0129 Pミーティング...

- “子ども主体＝教員ノータッチ”の誤解防止：実行度チェックリストで体制の継続点検、程よい具体性での目標とモデリング→久米先生の丸投げ懸念に対する運用設計。  0129 Pミーティング...
 - 学習指導要領改訂の論点（多様性の包摂/実現可能性）にPBSを接続→中川先生の来年度展望に政策的な後押しの枠組みを提示。  0129 Pミーティング...
-

付録：このまま使える“実務タスク”チェックリスト（次回会議まで）

- 月目標ポスターに三つの大切等の紐づけアイコンを付す（校内テンプレ共有）。  0129 Pミーティング...
- 主観評価ミニアンケート（3段階）を学期末に5分で実施（ロイロ/フォーム）。学年別ヒートマップを作り、次の月目標選定資料に。  0129 Pミーティング...
- 実行度チェックリストの学年横断セルフ点検を設定（10～15分）。弱い項目→即席ミニ研修（司会が準備中の教材集を活用）。  0129 Pミーティング...
- 新任・新転入向けPBS基礎研修の日程/担当/資料を年度内確定（30分版）。  0129 Pミーティング...
- 学校運営計画・公務分掌・コミュニティスクール議題にPBSを明文化（下書き作成→管理職合意）。  0129 Pミーティング...